

ぼう ちょう しゃ 傍聴者の声

傍聴者数のべ55人

若者の声を
聞いてみました!

自分が住む町を知る
ことは大事



立命館大学
法学部1年
田中沙英さん

初めて議会を傍聴しました。感想は、テレビで見た国会での討論とは大きく違うということでした。もっと議論が滞る印象がありました。淡々とスムーズに進んでいて驚きました。

一般質問では各自問題の掘り下げ方や調査方法が違って、大変興味深かったです。ただ、再質問に回数制限(2回まで)があるためか、一つひとつの質問や答弁が長く、理解できなくなることもありました。行政職員側の答弁の論点がずれる要因の一つに、「質問が長く複雑」ということもあるのではないかと思います。

自分が住む町の課題を知り、また議員や行政職員はどのように考えているか知ることが大事だと感じました。

議会への声を
募集中です!

※町行政の事業に対するご意見・ご要望については、担当課へ直接ご連絡いただくか、「町政への提案」をご利用いただけますようお願いいたします。

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイディア」があればお寄せください。

様々な分野へ関心を持って、
先入観もなくなる



熊本学園大学
経済学部1年
三池登也さん

初めて傍聴を経験しました。始めは本会議や委員会の役割がよく分からず何が話し合われるのか想像もできませんでした。しかし、間近で耳を傾けると当初抱いていた抵抗感は薄れました。

一般質問では一部の地域から熊本、全国まで幅広く話題が抽出されており親しみを感じました。委員会は、経済建設委員会を傍聴し災害復旧や公共整備について学びました。用語が難解で理解が難しいものもありましたが、大まかに全体像を掴めました。最終日の本会議では他の委員会での審査内容も傍聴できたので、福祉や医療など興味の幅が広がりました。

傍聴をきっかけに様々な分野へ関心を持って、議会への先入観もなくなるかもしれません。未経験の人には薦めたいです。